

# 保育者に求められる保育内容の専門的知識 —領域「健康」—

門松良子（初等教育学科）

Professional Knowledge Expected of Nursery School and Kindergarten Teachers  
Concerning Childcare Content and Education

— Field : Health —

Ryoko KADOMATSU (Department of Elementary Education)

## 抄 録

本研究では、5領域におけるねらいと内容が、情緒的側面に偏っていることに関する問題提起を行う。その際、5領域の中の「健康」を例に挙げ、ねらいと保育内容の専門的知識について論究する。

本来、幼児の心身の発達は、情緒的側面と知的側面とが表裏一体の関係で成立している。したがって、園生活の中で幼児が楽しく遊んでいるというとらえ方だけでは、幼児の心身の発達を真に保障できない。つまり、幼児の情緒的側面を満足させるだけでなく、幼児が主体的に知的側面を学ぶことができるように保育者は配慮しなければならないということである。重要なことは、情緒的側面と知的側面とを配慮した保育を実践することである。そのためには、保育者の資質向上が求められている。ここに保育の現代的かつ緊急の課題がある。また、研究を進めるにあたって、領域「健康」の中の運動遊びを事例として取り上げた。考察の結果、保育にはねらいと内容を実践するための専門的知識に基づく事前の遊びの分析と学びの実態、および事後の見取り能力が保育者に必要不可欠であることを明らかにした。

なお本研究は、第65回日本保育学会（2011）で発表した「保育者に求められる保育内容の専門的知識 —領域『健康』（1）—」および第66回日本保育学会（2012）で発表した「保育者に求められる保育内容の専門的知識 —領域『健康』（2）—」に加筆修正したものである。

キーワード：領域「健康」、ねらいと保育内容、専門的知識、幼児の主体的な学び